

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索 

平成30年7月1日号への掲載の申込みは、5月25日(金)までに、広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

広報みしま	締切日
平成30年8月1日号	6月28日(休)
平成30年9月1日号	7月25日(休)
平成30年10月1日号	8月24日(金)
平成30年11月1日号	9月28日(金)

文化

～新しい歌始まりの場所で。～ 3周年記念ライブ in 大社の杜

☎5月13日(日)▶第1部：正午▶第2部：午後3時
☎大社の杜みしま☎東部社会人アカペラサークルによるライブ。一度は耳にしたことのある邦楽・洋楽を楽器を使わず声だけでお届け！
☎無料☎雨天時は別会場で開催予定※詳細は問合せ☎関野☎090・9330・0547

トリプルジョイントコンサート

☎5月20日(日)午後0時30分～3時30分
☎市民文化会館小ホール☎三味線、二胡、フラダンスの発表会☎無料☎不要☎杉山☎986・6365

伊豆中央高校吹奏楽部 第34回定期演奏会

☎5月27日(日)開場午後1時20分、開演午後2時
☎市民文化会館大ホール☎▶指揮：藤田光介▶曲目：アルセナールほか
☎▶前売り券300円▶当日券500円☎伊豆中央高校☎949・4771

スペイン語勉強会参加者募集

☎毎週火曜日午後7時～9時(5月下旬から)☎北小学校地域連携室☎参加者が協力してスペイン語の文を読み、CDを手本に短文会話の練習をする勉強会☎スペイン語の基礎を学んだことのある人☎無料☎教材(事前に指定します)☎三島スペイン語同好会・安田☎090・9945・0200

スポーツ・健康

初心者のための合気道教室

☎毎週火曜日午後7時～9時、第1・第3日曜日午前9時30分～11時30分
☎市民体育館柔道場☎合気道、護身の基本、精神修行☎中学生以上☎1,000円☎運動できる服装または、柔道・空手着☎稽古日に直接市民体育館柔道場☎橋本☎090・3645・4066、藤田☎090・7680・5877

その他

フィリピン・DAY～OPTIONS
代表テスバルガスさんをお迎えして～
☎5月20日(日)午前10時～午後3時
☎場日本大学国際関係学部1512教室
☎無料☎富岡ゼミ☎980・0712

ラ・サンテまつり

☎5月20日(日)午前11時～午後3時
☎介護老人保健施設ラ・サンテふよう(佐野)☎ミニコンサート、チアダンス、猿回しショー、お楽しみ抽選会、バザー、フードコーナー、施設見学、子どもコーナー、模擬店、健康相談コーナーなど☎介護老人保健施設ラ・サンテふよう☎989・7000

三島マジッククラブ発表会

☎6月3日(日)午後1時30分～3時30分
☎市民文化会館小ホール☎「感動」出現・消失・変化を楽しむ夢と希望の世

界☎無料☎三島マジッククラブ・高田☎987・6334

Yotsuba 1 day マルシェ

☎5月27日(日)午前10時～午後3時
☎カフェ&スペースほとり(日の出町)☎地元ミュージシャンライブ、参加型ワークショップ、ハンドメイドや加工品、野菜販売など※雨天決行☎無料☎NPO法人くらしと情報ネット・丸尾☎080・3676・8115

「明石海人(歌人)とハンセン病を学ぶ会」

☎6月9日(日)午後1時☎沼津千本プラザ大会議室☎国立ハンセン病資料館：金学芸員講演、明石海人顕彰会によるお話、動物介在活動びらす活動紹介、美術家田川誠活動紹介、ハンドスタンプアートプロジェクトなど☎50人※事前申込順☎無料☎☎5月31日(日)までに石井☎090・4866・4120

コスモス話し方教室 会員募集(入会随時)

☎毎月第2・第4木曜日午後7時～9時
☎生涯学習センター☎スピーチを練習してみませんか☎会費3,000円(8回分)
☎☎伊倉☎975・2970※FAX可

「市民活動団体応援コーナー」は広報広聴課窓口に来庁しなくても、電子メール・FAXで申し込みできます。申込用紙が変更になりました。市ホームページで「市民活動団体応援」と検索し、ダウンロードしてください。併せて締切日も掲載していますので、ご利用ください。

企画展「新規収蔵品展—三島の明治から昭和—」は、6月3日(日)まで開催

歴史の小箱

No.360

明治維新で活躍した

小松宮彰仁親王の書

郷土資料館（楽寿園内）では、現在「新規収蔵品展」を6月3日(日)まで開催しています。展示資料の中には、明治中ごろ、現在の楽寿園の地に別邸（楽寿館など）を造営された小松宮彰仁親王の書があるので紹介します。小松宮彰仁親王は、維新に際して活躍し、明治時代の日本陸軍の中樞を担いました。称号を何度も変えていることもあり、小松宮の名はあまり広く知られていません。

小松宮は、伏見宮の第八王子に生まれます。仁孝天皇の猶子（養子）となり、仁和寺に入寺して親王宣下を蒙り「純仁法親王」を号します。安政五年（一八五八）九月に仁和寺第三十門跡に就任します。

当時、皇室や官家の跡継ぎ以外の皇子や王子の多くは寺に入

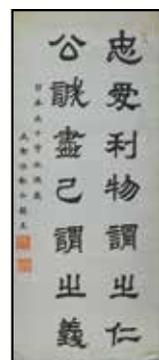
る風習がありました。仁和寺は皇族が入る寺（門跡寺院）の筆頭格でした。明治初め頃までは、京都の人々は「仁和寺宮さま」と呼んでいたのです。

幕末の慶応三年（一八六七）十二月九日、王政復古の大号令に伴い、明治天皇から還俗を命じられ、「嘉彰」と称し、新政府の閣僚である議定に任ぜられます。二十二歳の若さでした。明治天皇を支える藩屏としてこの後多くの皇子・王子が還俗し、宮家の創設を許されています。

明治維新の行方に大きな影響を与えた鳥羽伏見の戦いの日（明治元年へ一八六八）一月四日）仁和寺宮は天皇から征討大將軍・軍事総裁に任命され、錦の御旗と節刀を授けられ、新政府軍として東寺に陣を敷き、大阪に進軍しました。錦の御旗の前に、旧幕府軍は大阪へ敗走したのでです。

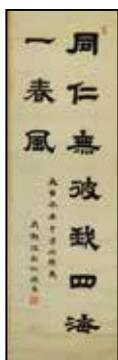
この後、宮は明治三年「東伏見宮」と改称されます。その後明治十五年に称号を「小松宮」、名を「彰仁」に改めています。小松とは仁和寺の寺域周辺の旧地名です。

明治時代には長く陸軍で活躍され、近衛師団長や兼議定官に任ぜられ、日清戦争の時は參謀総長・征清大総督として出征し、後に元帥府に列せられます。



また戦争犠牲者の救護に努め、明治十年には博愛社創設に力を尽くし初代総長となりました。明治二十年に日本赤十字社に改められると初代総裁となり赤十字社の発展に尽くしました。上野動物園入口ゲートへ行く途中左手に、騎乗した小松宮の銅像があります。赤十字社に貢献したことにより建立されたものです。

写真の二つの書はこの日本赤十字社総裁時代のもので、仁と平和を愛する思いと、穏やかな人柄がしのべれます。



小松宮は明治三十六年（一九〇三）年二月、五十八歳で薨去され、国葬とされました。

わたしのおじいちゃん

当番 よしだ あやなさん

わたしのおじいちゃんは、手先が器用です。
家庭菜園では、野菜の育て方を教えてくれます。畑を耕すのは力仕事で大変なのに、私の好きな野菜を沢山、おいしく作ってくれて嬉しいです。
冬が近づくと、わらでしめ縄と宝船を作り始めます。宝船は、米俵や松、梅など細部までしっかり作られています、すごいです。
おじいちゃん、いつか私が、おじいちゃんの作った野菜でおいしい料理をつくるね。



吉田秀夫 (75歳)
吉田 綾那(北小6年)